

楽しい調べ学習シリーズ

月探査の大研究

月の基礎知識から資源開発まで

[監修] 佐伯和人



A4変型判・56ページ・上製
NDC446



●監修者プロフィール●

佐伯和人(さいき・かずと)

立命館大学総合科学技術研究機構教授、宇宙地球探査研究センター長。1995年、東京大学大学院理学系研究科鉱物学教室で博士号(理学)取得。ブレスバスカル大学(フランス)研究員、大阪大学准教授などを経て現職。世界初の月面ピンポイント着陸に成功したJAXAの小型月着陸実証機プロジェクト(SLIM)の主要メンバー。

人類が、月で生活する日が来る!?

「水があるかもしれない」。この観測結果が、人類を再び月探査に駆り立てています。水があれば、呼吸に必要な酸素や燃料になる水素が得られるからです。NASAが主導するアルテミス計画では、月周回軌道上の宇宙ステーション建設、月面有人探査、月面基地建設が予定されています。月という天体の基礎知識と資源開発のための探査活動の現状、将来構想をわかりやすく紹介します。

本書の内容

- 第1章 月は、どんな天体か** 地球からの距離、月の大きさ／月はなぜ、満ち欠けするのか／夏の満月は高く、冬の満月は低い／深ぼりコラム① なぜ月食、日食は起こる?／章末コラム：月の引力と潮の満ち引き
- 第2章 月の世界と探査の歴史** 表側と裏側は別世界だった／寒暖差が大きく、隕石や放射線も飛来／クレーターなど独特の地形が広がる／斜長岩の「高地」と玄武岩の「海」／深ぼりコラム② 月はどのようにできたのか／宇宙飛行から月面着陸、「水の発見」へ／たてあな、地下の空洞などを発見／月面のピンポイント着陸に成功した／深ぼりコラム③ 探査の必要性和やり方／章末コラム：月の「なぜ」を解明するには
- 第3章 月資源の利用で宇宙へ** なぜ、再び月をめざすのか／南極の日かげに「水」はあるか／一等地は日なたと地下の空洞／月の砂でブロックや施設をつくる／太陽エネルギーが基地や車の電源／地下か月面で栽培。生ごみも再利用する／地球観測と宇宙探査の足場をつくる／深ぼりコラム④ 各国が計画している月探査／章末コラム：宇宙とつながる地球の仕事

PHP研究所 第一事業普及本部 ご注文専用FAX 050-3606-4483

※個人のお宅のFAX番号と似ています。ご注意ください
下さいますようお願い致します。

ご注文書	お申込数	月探査の大研究	
		冊	佐伯和人[監修] ISBN978-4-569-88194-2 定価:本体3,500円(税別)
	学校名/お名前	取扱い書店・販売店名	
	ご住所 〒		
TEL ()			

※お客様の住所・氏名などの個人情報は、ご注文受付の目的以外には使用いたしません。ご了承のうえご記入ください。